

## ニュージーランドにおける ガーデニングのレクリエーション的価値

杉尾 邦江 武蔵工業大学工学部講師  
(株式会社プレック研究所)

(キーワード) ガーデニング

### 1. はじめに

J・ブノワ・メシャンは、「庭の創造は、余暇の状態にひらめく靈感に想を得た人間の表現への願望の至高の到達段階である。」と述べている。このように、自然や庭や草花、そして風景への愛好と創造への願望は、ほとんど本能的なものである。キーストマスが、言うように、庭は本来個人の果てしない満足の源泉であり、また、思う存分自己表現ができる空間として、特にイギリスで庶民階級に産業革命を前後して、庭作りが大流行した。急激に増加する余暇を庭作りや園芸によって、美と自然の創造のために消費するレクリエーションとして、庭作りは奨励された。この庭の流行は、イギリスから海を渡り、アメリカ、カナダ、オーストラリア、ニュージーランドの植民地に移植された。

レクリエーションとしてのガーデニングは、同時に、町の景観や好ましい環境の創造、更に、地域社会や文化に多大な貢献と効果をもたらしている。

我が国においては、最近、私的空間が公共空間と同様に、良好な環境や景観形成の空間として認識され、私的空間を代表する住宅の外部空間が都市環境の一部として、庭化が要請されつつある。従って、今後レクリエーションとしてのガーデニングの普及が望まれることから、ガーデニングのレクリエーション的観点からの価値と効果について明らかにすることが必要である。従って、世界的にガーデンシティとして認められているニュージーランド、クライストチャーチ市のガーデニングの実態を把握することによって考察を行った。

### 2. 方法

1987年にクライストチャーチ市において、3000人を対象に質問表郵送によるアンケート調査を実施した。3000人中1396人の回答を得た。アンケートでは得られないディテールは、60人を対象にインタビュー調査を行った。アンケートは25項目にわたり、(1)属性、(2)住居・庭の形状・大きさ、(3)ガーデニングの動機、(4)ガーデニングの実態(作業内容と分担、時間、愛好の度合い)・ガーデンの実態(庭の大きさ、タイプ、構成材料[樹木、灌木、草花、芝、その他の使用度合い])、(5)庭の使用目的、(6)バンダリーの構造、等であり、インタビューでは更に、庭の構造、庭作りを始めた動機を詳細に把握すると共に、庭への趣向として使用樹種、草花の種名と使用頻度、カラーの使用頻度、等で、写真撮影及びビデオ収録、庭の平面図作成を特に庭の最も美しい最盛期の2月に実施した。

### 3. 結果と考察

#### (1) レクリエーションとしてのガーデニング

市民の96.7%がガーデニングを行っており、86.4%の人がガーデニングを愛好している。ガーデニングの動機としては、次の9項目があげられ、それぞれ重要と認識している度合いは、表1のように、庭のメンテナンスを目的とする動機は、⑤の町の景観美

表1 ガーデニングの動機

①庭のメンテナンス	95.9%
②リラックス	79.3
③ホビー	57.7
④エクササイズ	49.5
⑤町の景観美化	83.6
⑥植物への興味	77.5
⑦近隣社会との友好	13.0
⑧社交	20.3
⑨食料の生産	64.2

化を維持するためと相関が高く、庭は町の景観を形成する重要な景観要素として、住民が認識している事を示すものであるが、一方では、リラックス・ホビー・エクササイズ・植物への興味といった、レクリエーション活動として、ガーデニングを捉えている事が明白である。更に、庭の利用の仕方としては、ガーデニングそのものはレクリエーション的に行うが、庭そのものの使い方としては、庭という空間を環境として捉え、身近な環境として潤いを感じる空間、美しい景観として眺望を楽しむ空間として利用する事が主体であり、スポーツ、ホビーといったアクティビティを楽しむと

表2 庭の使い方

①エクササイズ	38%
②道路景観の修景	41
③景観を楽しむ	87
④環境を楽しむ	91
⑤戸外生活の場	60
⑥食物生産	56

いった使われ方には重要としていない事がわかる。

ガーデニングに要する時間量は、1週間の内、1時間以上が73%、4時間以上が40%と、週末の半日はガーデニングに費やす事が、日常的に行われている。

(2) ガーデニングに要する消費額

年間1~5万円を消費するが、約70%に達し、これは、殆どが草花の種子・苗木代等の材料費であり、庭は、殆どすべて彼ら自身の手で作られ、維持管理されている。

(3) ガーデニングの作業内容

ガーデニングの作業としては、①庭のデザイン、②基盤整備（灌水設備・舗装・園路・パーゴラ・テラス・プール・池・花壇の床作り）、③草花の栽培・繁殖、庭木の植栽、手入れ、④芝生の手入れ、⑤動物環境の施設（バードバス、バードフィーダー等の製作）等であるが、これらの作業は、すべて家族で分担して行われる。その分担は、父親は芝生と庭木の手入れ60%、草花の管理は母親が65%、果樹の手入れは祖父が41%の比率で行っている。

(4) 庭の構造と様相

クライストチャーチの庭は、道路に面し、約42%がフェンスがなく、道路から眺められるようになっている。芝生・草花・灌木から構成され、庭で重要とされる植物は、灌木が最も高く91%、次いで草花88%、低木58%で、庶民の庭ほど草花が鮮やかに咲く、芝生と灌木とで構成されたフォーマルなフロントガーデンである。

(5) 属性によるガーデニングの傾向

家庭の主婦、リタイアした人ほど、ガーデニングの時間量が多く、手間のかかる草花を愛好し、高年齢の人ほど、ガーデニングをレクリエーションとして行う傾向にある。

(6) まとめ

クライストチャーチの市民が最も時間を消費するレクリエーションは、ガーデニングであり、そのレクリエーション傾向は、単にホビー、リラックス、エクササイズといった精神的なリフレッシュ効果のみならず、ガーデニングは市域の景観、環境形成に多大な貢献を与えている。ガーデニングは、今後、最も有望なレクリエーションとして普及する事が望まれる。